

# 白河地区保護司会会報

# 更生保護 しらかわ

責任者  
会長：三森 繁  
サポートセンター  
白河市表郷番沢字和田46-9  
TEL 0248-21-5922  
編集者：広報委員会  
題字：三森 繁  
会報アドレス  
<http://www.srkw.or.jp/~mimo/hogoshi/>



## 『鹿島神社(白河市東下野出島)の狛犬』

福島県南地方は狛犬の宝庫と言われ、独創的で芸術性の高い狛犬が多く存在します。中でも鹿島神社(白河市東下野出島)の狛犬は大きさ、躍動感、緻密さ、力強さ等抜き出た石工小松寅吉の最高傑作と言われています。

## 保護司信条

私たちが保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の防止に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

平成六年五月制定



ご挨拶

白河地区保護司会  
会長 三森 繁

令和三年秋の瑞宝双光章受章は、平成二十六年秋の藍綬褒章の榮譽に続いての叙勲で恐縮至極であり、身に余る光榮と感謝の気持ちでいっぱいです。特に、今回は、長年にわたる保護司活動に対するものと思っていることから、私個人の受章ではなく、白河地区保護司会に対して頂いたものと受け止めています。

保護司を拝命し四十年間、昭和、平成、令和と社会が大きく変貌する時代に更生保護活動を行ってきました。このような時代の中で、対象者の処遇を通して人は厳しさだけではついて行かない。その人に寄り添うことの大切さを強く感じています。自分にどれだけ出来るのか、不安でいっぱいでした。「あせらず、くさらず、あきらめず」保護司の使命とは何ぞやと常に自問自答し、様々な研修会を通じ人格識見の向上に努め、無事つなぐことが私の役目と考えるようになりました。

このようなことを深く胸に刻み、現在、白河地区保護司会で重点的に取り組んでいます「再犯防止推進計画」及び「ICT事業」の促進について、今年も今年でもあり、猛虎果敢に「とらい」する気持ちで、受章を励みに更生保護の一層の充実と発展のため寄与したいと思っています。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、更生保護活動が中止、延期を余儀なくされ、当保護司会の皆様におかれまして、保護司活動が低下することのないよう感染対策をとりながら任務を負って頂き、お礼申し上げます。一日も早く、本来の活動が出来ますようにと祈るばかりです。

今年の十一月十八日には、白河市で福島県更生保護大会が

開催されます。関係機関並びに保護司の皆様には多大のご負担、ご協力をお願いすることとなりますが、よろしくお願いいたします。

結びに、皆様の更なるご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

## 瑞宝双光章受章のことば

三森 繁

令和三年十一月三日付の秋の叙勲に際し、瑞宝双光章の榮に浴し恐縮しております。

受章できましたことは、長年にわたり皆様からいただいたご指導と多くの方々のご支援助の御陰であり、心から感謝申し上げます。今後はこの榮譽に恥じることはないよう一層精進いたす所存でございます。



祝賀会



市長への報告



# 持続・発展可能な保護司制度に向けて



福島保護観察所長  
門 脇 甲太郎

白河地区保護司会の皆様には、平素より、更生保護事業に御尽力を賜っておりますことに、心より御礼を申し上げます。

保護司制度は、日本社会の安全に大きく貢献し、「誰一人取り残されない」共生社会の実現という、SDGsに掲げられた価値を体現する存在として、世界的にも高く評価されているところですが、一方で、ご存じのように、近年の社会の変化に伴い、保護司の後任者確保に大変御苦労される状態が続いております。白河地区におかれましては、これまで計画的に確保くださり、定員数への充足率も高い数字を維持頂いているところですが、それでも、今後五年間で三人にお一人が、十年で二人にお一人が、保護司の定年年齢に達することとなります。保護司制度を持続的に発展させるためには、引き続き、保護司の後任者を早期かつ計画的に確保し、処遇技能等を

継承していくことが重要です。

また、なつて頂いた保護司の皆様は、事務負担を少しでも減らし、コロナ禍でも、密接な情報共有を確保するため、更生保護においても、保護司業務のデジタル化に取り組んでおります。白河地区におかれましては、ICT化にも積極的に取り組んで頂いており、大変心強く存じます。

加えて、白河地区におかれましては、県更生保護大会を、新型コロナウイルスによる令和二年度大会の中止を経て、本年十一月に、再度、お引き受け頂けることとなり、これから、大変お手数をおかけいたしますが、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、皆様には、引き続き、くれぐれも御自愛ください。今後とも更生保護事業にお力添えを賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。



福島保護観察所  
保護観察官 千葉 結衣子

# 保護観察官になって

令和三年四月一日から白河地区を担当しております千葉結衣子と申します。よろしくお願ひいたします。私は、今年の四月から人事交流で矯正(刑務所)から保護観察官として勤務することとなり、保護観察官として勤務し始め、もうすぐ一年が経とうとしております。初めてのことがばかりで、保護司の先生方には大変ご迷惑をおかけしております。そんな中、私の無謀なお願ひなどに

対して、嫌な顔を一つもせずにお助けいただき、とてもありがたい。保護司の先生方の優しさが身に染みています。いつもありがとうございます。

私が保護観察に関わるようになり、施設内(刑務所内)処遇より社会内処遇(保護観察)の方がとても難しく、最近さらさら感じているところ。対象者が再犯をしてしまうと、今まで関わっていたのに

もう何もすることができないと、とても悲しい気持ちになってしまいます。もう少し違う関わり方ができたのではないかな、などとも思います。その気持ちを忘れず、社会内で生活出来ている状況を続けていける環境を作れるようにしたいと思います。

白河地区は、薬物事犯者が多いため、ダルクや自助グループそして医療に繋がられるように、社会で対象者の居場所と出番があるように、そして、施設(刑務所)の不自由な生活よりも社会の充実した生活を続けたいと思います。今後とも御協力をお願いいたします。

# 白河地区保護司会 研修旅行について

研修部会 池嶋 知与

名残り紅葉の中、一路福島へ向けて出発して、車中では十二日に開かれたSST研修について再考。それぞれの立場で「褒める、認める、応援する」その働きかけについて話しました。

県庁にて再犯防止推進計画について職員の説明を受け、三森会長からは自治体独自の策定と迅速な対応を要望しました。福島県議会議員の三議員と、自由民権運動の歴史から、今現在政策等について意見交換をしました。徒歩で県警察本部へ移動。OBの國分先生、小松先生の参加も有り多くの職員が迎えに来てくれました。通信指令室

交通管制センターはリアルタイムに状況を把握して即応指令が出されます。警察官と国内最新鋭機によって私達の生活が守られていることに感謝します。

自立更生促進センターにて、伊藤課長より設立までの経緯や所内の説明がありました。至道会には、高橋施設長から至道会の役割と対象者との関わり方を拝聴しました。言葉の大切さ、人と人とは言葉ひとつで心もつながるそして認め合えるのだと。

青少年を担当した時、世の中は不平等、親も選べない理不尽な環境の下で、やむにやまれず罪を犯してしまった少年少女を前にした時、悲しいその現実を突き付けられます。誰一人も取り残さない社会を目指していくことを強く思います。

手を離れて行く時はいつも平穏であれ、生きることは素晴らしいと思えるよう暮らしてほしいと祈ります。

翌十七日、摺上川ダム見学、後藤先生解説、石組工法の多目的ダム、美しい見事な形は、晴天に榮え、先人技術者達の労苦が偲ばれて胸熱くなりました。

私たち保護司も、小さくとも堅い社会の礎となる存在です。

参加された先生方の体験も聴くことが出来、実り多い研修となりました。





今年度の活動

1 第七一回 社会を明るくする運動

(1) メッセージ伝達

門脇甲太郎所長より  
鈴木和夫市長へ



白河方部保護司参加



白河方部保護司参加

三森会長より  
蛸田泰昭町長へ



矢吹方部保護司参加

三森会長より  
加藤幸一村長へ



中島方部保護司参加

三森会長より  
箭内副村長へ(現村長)



泉崎方部保護司参加

三森会長より  
高橋廣志村長へ



西郷方部保護司参加

(2) 街頭啓発活動及び他団体との連携事業

白河市(7月1日)



会津若松地区保護司会との交流会(1月27日)

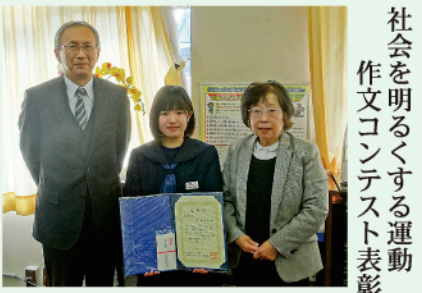


泉崎村(10月26日)



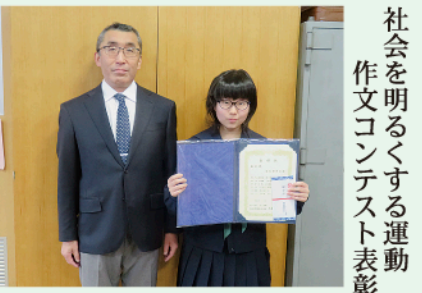
泉崎中学校一年生への記念品贈呈  
(ファイル)

西郷村(1月24日)



【入賞者】岡部 百花さん  
(西郷第一中学校)

白河市(2月2日)



【入賞者】佐久間柑奈さん  
(白河市立東北中学校)

社会を明るくする運動  
作文コンテスト表彰

社会を明るくする運動  
作文コンテスト表彰



# 第38回 県更生保護大会

・十一月五日  
・会津若松市(中止)

## 受彰者(白河地区)

瑞宝双光章(更生保護功労)

三森 繁

法務大臣表彰

森田一實

全国保護司連盟理事長表彰

鈴木裕一

東北地方更生保護委員会委員長表彰

大塚勢津子 後藤邦雄

佐藤昌子 芳賀憲市

東北地方保護司連盟会長表彰

砂塚 功

更生保護法人全国保護司連盟理事長表彰

(家族功労者)

安部 和夫 (安部かよ子保護司の夫)

## 受彰者のことば



法務大臣表彰  
森田一實

この度は法務大臣表彰を戴き、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスがまん延の中、福島県更生保護大会が中止になり、県大会での授与ではありませんでしたが、保護司会から町への報告会を準備して頂き、白河保護司会の配慮に心から感謝しています。平成十四年に保護司を拝命してから、今年で丁度二十年になります。その間保護司としての任務を何とか務めさせて頂きました。建築設計事務所と保険代理店を営みながらの保護司活動でしたので、思い返すと大変目まぐるしい毎日でした。私は八月の誕生日で満七十五歳になり、今年十一月末で任期満了になります。その丁度節目の時に表彰を受ける事ができ、改めて嬉しく思っています。

福島県知事感謝状

池嶋知与 加藤 芳子

鈴木博成

福島保護観察所長表彰

秋山充司 海上 泰子

高橋 廣志

福島県保護司連合会会長表彰

大竹君江 近藤洋一

松田隆志

東北地方更生保護委員会委員長感謝状

新妻 眞孝

## 「市政功労表彰を受彰して」



白河市市政功労表彰  
松尾千鶴子

令和三年十一月三日、白河市役所において鈴木白河市長様から保護司として社会福祉事業功労賞をいただきました。私の他、いろいろな分野からの受彰者の方がいらつしゃって身の引き締まる思いをいたしました。私がこのような受彰をいただけましたのは、皆様の温かい御指導と御鞭撻の賜と感謝申し上げます。

私が保護司を拝命致しました頃は先輩から保護司をしている事は黙っているようにと言われてました。それは対象者の方が面接に来た時近隣の方などから守るためだと思っていました。また環境調整で両親の所へ行った時、はつきり断わられた事もありました。保護司の仲間入りをさせていただき、たくさん勉強させていただき、たくましくありましたがこれからは社会に貢献できるようにがんばっていきたくと思っています。これからもよろしくお願い申し上げます。

## SST自主研修会に参加して

佐藤 修

令和三年十一月十二日、「SST自主研修会」に参加しました。参加する前は、演習の多い研修会は、「苦手だなあ」という思いがありました。また、会話がいい方向に進むための大事な視点として、不十分なところを指摘するのではなく、まず相手のことを思いやつて、「褒める」ことを見つけて会話を進めることが重要だと結ぶんだらうな。そんなことは「百も承知」という不遜な考えもありました。

しかし、講師の片柳先生から「褒める」ということの大切さを丁寧にご指導いただき、自分の中にうごめいていたわだかまりが「悪い点の指摘無くして褒めることは偽善ではないか」という思い込みが少しずつ揺らいでいきました。はじめの模範演技での、片柳先生と渡部先生のやりとりでも、渡部先生があえて口にしなかった「すみません」という一言がなかったことに對して、どうしてもそのことを指摘したくなってしまおう自分が、いかに心狭い存在であるかどうか気づくことができました。

演習を進める中で、対象者との人間関係を良くし、その後の関係改善がスムーズに進むためには、指摘することを先にするのはなく「褒める」ことを先とする事が大事であることを演習を通して改めて理解できました。そうすることによってその後の会話及び人間関係が本場にスムーズになります。自分の小さな殻を破るきっかけとなったこの研修は、とても有意義なものとなりました。

## 退任・新任保護司紹介

退任 須藤 俊夫 (泉崎村)  
令和3年5月31日

新任

保護司 鈴木裕哉  
令和3年6月1日



当地区の三森繁会長よりお声がけいただき、保護司を引き受けました。これまで全く縁のない世界でしたので、どう活動すればいいのか戸惑いましたが、研修と先輩方のご指導により少しずつ保護司としての自覚と実感が湧いてきました。微力ではございますが早く地域に貢献できるよう努めて参ります。

保護司 小河原 健一  
令和3年12月1日



私は、特別支援教育に長年携わってまいりました。私がいつも大切にしていたことは、一人一人の子どもの良いところを見つめ、その良いところをさらに伸ばす教育を行うことです。今後、様々な出会いがあると思いますが、どんな時もその思いを胸に刻んで頑張る所存です。どうぞよろしくお願いたします。



保護司 内藤 宏信  
令和3年12月1日

私なりに保護司の任務は、「伴走者」だと理解しています。自分が何とかならうとする人の傍を走りながら、伴に社会復帰というゴールを目指すということです。「犯罪者」悪」と決めつけるのではなく、立ち直ろうとする想いを信じられる保護司を目指してまいります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



保護司 黒澤 俊  
令和3年12月1日

この度、縁あって白河地区保護司会サポーターセンター様にお邪魔し、保護司の活動についてお話を伺う機会がありました。当社にも長く保護司を務めている先輩がおり更生活動については、話を聞く機会がありました。諸先輩方の御指導を頂きながら地域にご協力できればと思います。



保護司 近藤 清美  
令和3年12月1日

私は、定年退職後、今まで私を支えてくれた皆様に何らかの形で恩返しのできたらいいなと思っております。そんな折、人のため地域のためにある「保護司」の話を勧められ、少しでも恩返しのできるのであればと思ひ引き受けました。これから諸先輩のご指導を受け、頑張りますのでよろしくお願いたします。

## 編集後記

新型コロナウイルスで制約のある中、東京オリンピックピックパラリンピック大会が開催されました。このような中、更生保護活動も工夫と努力で、研修報告、研修旅行、各種事業など様々な記事で満載にすることができました。

お忙しい中執筆していただきました皆様、厚く御礼申し上げます。  
〔広報委員会〕